



Focus in 南島原 まちの話題

各地でイベントにぎわう

11月から12月にかけて、市内各地でさまざまなイベントが開催されました。コロナ禍により、3年ぶりに開催されたイベントもあり、来場者は花火やステージイベント、買い物などを楽しみました。



ありえ浜んこら祭花火大会

「希望の輝き」をテーマに、コロナ禍で困難な状況の中、市民の皆さんや医療従事者への感謝の意を込めた色とりどりの鮮やかな花火や直径500メートルの2尺玉などが打ち上げられ、来場者は夜空の大輪に魅了されていました。



第31回 かづさ夢・手づくりふれあい祭り

園児や小学生のほか、アンパンマンショーなどのステージイベントや綱引き大会、玉入れ大会などの多くの催し物が行われました。

また会場内には農業、漁業、商工会、市内飲食店など多くのブースが出展し、特産品や郷土料理を買い求めて、家族連れなどでにぎわいました。



フェスティビタス ナタリス 2022

約430年前に行われたクリスマスを再現した「南蛮行列」ではたいまつを掲げた約70人が南蛮衣装を身にまとい、まちを練り歩きました。

そのほか V・ファーレン長崎によるサッカー教室やポルトガル、イタリアとのライブ中継、大事MANブラザーズの立川俊之さんのコンサート、抽選会などを楽しみました。



大事MANブラザーズ 立川俊之さんコンサート



長崎和牛のローストビーフとサフランライス



V・ファーレン長崎によるサッカー教室



九州オルレ南島原コース 秋のフェア2022 7周年オルレ

心配された天気もスタート前には回復し、心地よい気温のなか、参加者はオルレコースの景色や、各所に用意されているおもてなしを満喫しました。

フィニッシュ地点では、本市特産の「島原手延そうめん」が振る舞われました。



駐福岡大韓民国総領事館主催 総領事と一緒に歩く九州オルレ南島原コース

早崎漁港(あこう群落)までのハーフコースではありましたが、参加者は南蛮貿易で栄えた港町の自然豊かな風景を楽しみました。

朴総領事は「南島原コースは韓国^{パプ}の済州島^{チェジュ}と雰囲気が似ており、街並みや景色がとても素晴らしく、心身ともに癒されました。オルレをきっかけに、多くの韓国人が南島原を訪れ、食や美しい景色などの魅力を満喫してもらうことで、真の友好関係を築いていきたい」と話しました。



朴総領事(左)と松本市長



冬のマリンフェスタ inくちのつ 2022

芸能大会では、瀬詰太鼓やエビスバンドなどの地元芸能団体が日頃の練習の成果を披露し、会場を盛り上げました。

口之津港ターミナルに設置されたイルミネーションが点灯され、引き続きミニ花火大会も行われました。来場者は冬の澄んだ夜空に映し出される花火を楽しみました。

